

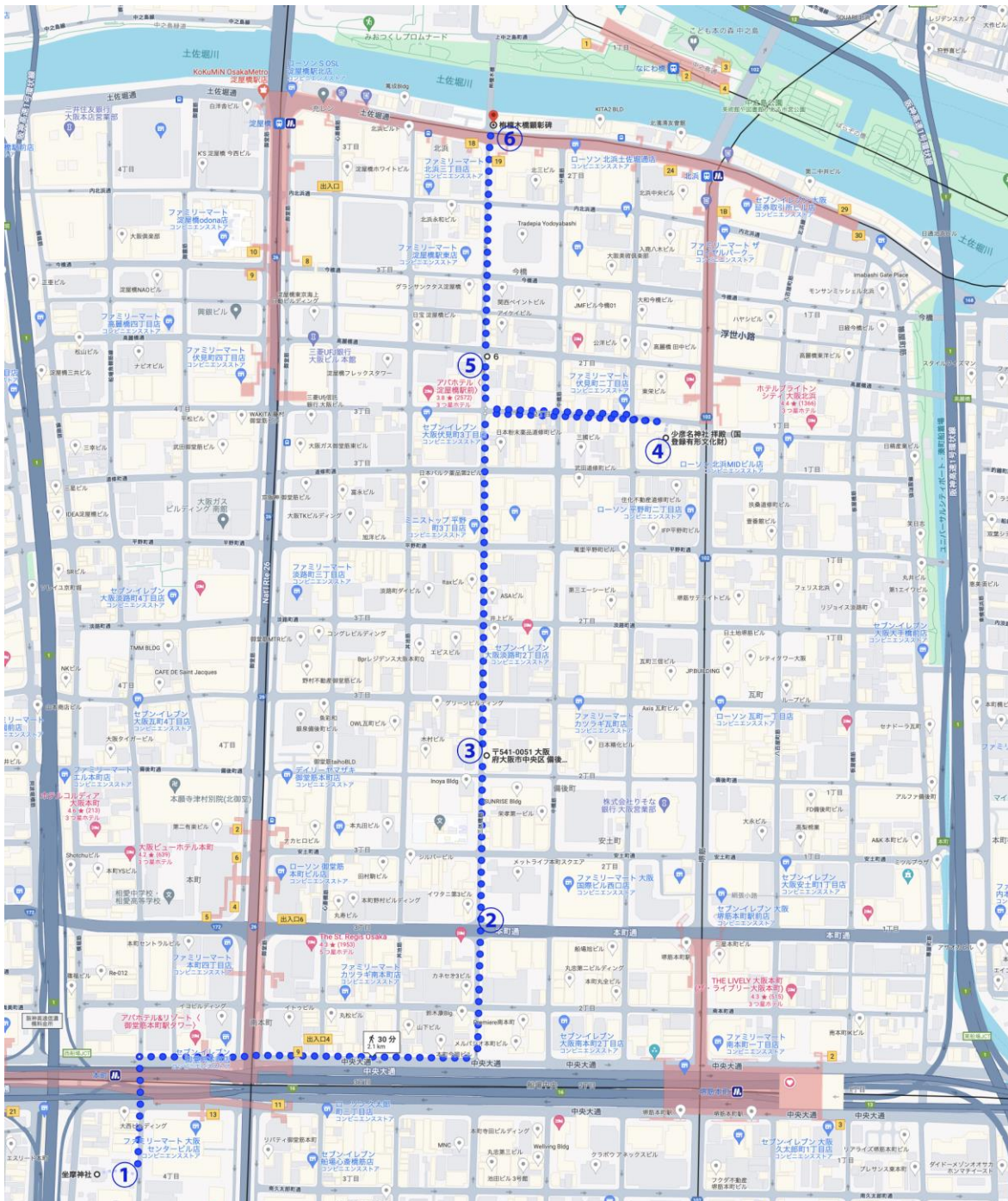
浪速散策



散策ルート前半

散策ルート前半 坐摩神社～三休橋筋～梅檀木橋

丸紅大阪にゆかりのある本町界隈を
辿ります





今日の散策はここからスタートします。

御堂筋と中央大通が交差する南西の久太郎町にある
 ①坐摩神社（ざまじんじゃ、いかすりじんじゃ）は
 神功皇后が奉祀されたのが始まりとされており
 生井神、福井神、綱長井神、波比祇神、阿須波神の
 五柱を祭っていて丸紅発足以来ご縁の深い神社と
 聞いています。

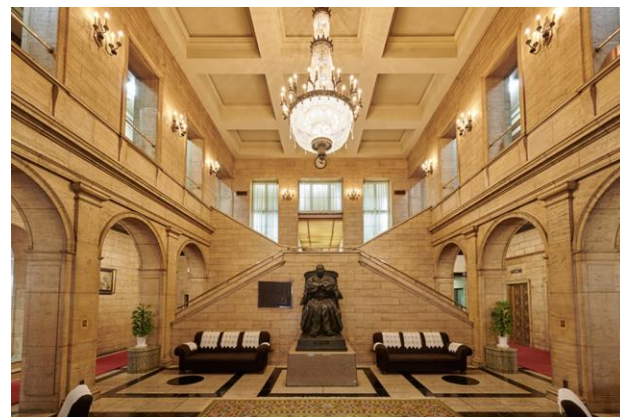
本町のオフィス街に近い社ながら、緑に囲まれた静謐な
 空間です。

ここから中央大通を北に進んで船場センタービルを
 通り過ぎ、本町通に出てから東に向きを変え御堂筋を
 渡ります。





本町通を辿って三休橋筋東側、旧丸紅ビル（現メットライフ本町スクエア）に着きます。この西門には過去丸紅本社壁面にあった②彫刻家古賀忠雄作「生まれ出る喜び」の彫刻が残っています。ここから三休橋筋を北に歩いてみましょう。



ロビー



談話室

備後町の北に1931年竣工した日本綿業倶楽部の建物、③綿業会館（重要文化財）があります。竣工時から冷暖房設備を備えたビルで大阪の紡績業華やかかりし時代が偲べれます。日本綿業倶楽部会員には丸紅OBもおられ、囲碁、将棋、講演や会食など、メンバーライフをエンジョイされています。（右側ロビー、談話室写真は日本綿業倶楽部ホームページより）



私が参詣した日もお参りする人が大勢来られてました⇒

小学校の授業でしょうか、生徒がスケッチするのを若い先生が指導していました。

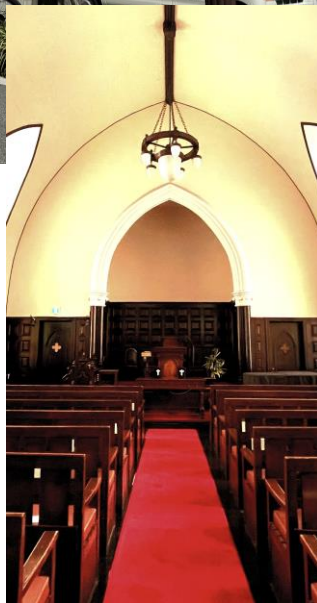


三休橋筋を北に進んだ道修町通には著名な薬品会社の本社が軒を連ねます。道修町を東に進み藤中橋筋を越えたところに「神農さん」と呼ばれる④少彦名神社があります。神社の入り口には谷崎潤一郎の春琴抄碑が置かれています。日本医薬総鎮守で病氣平癒健康成就の神社で祭神は少彦名命と炎帝神農の二柱を祀っています。

「張子の虎」の起源は文政5年（1822年）にコレラ（虎狼痢）が流行した際に虎の頭骨などの和漢薬を配合して虎頭殺鬼雄黄圓（ことうさっきゅうおうえん）を造り、病名と薬に虎の字が当てられたことから張子の虎をお守りとして薬と一緒に配られたことが起源で、家内安全無病息災のお守りとして広がったそうです。



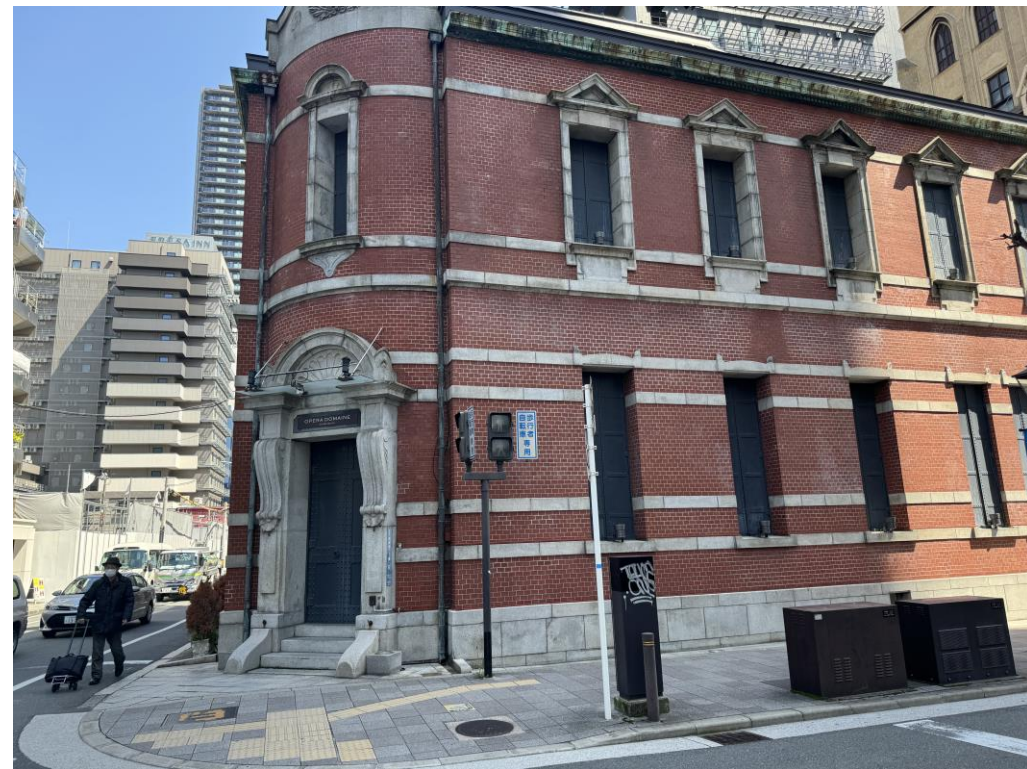
↑三休橋筋には処々に茶色のガス燈が
設置されており、ノスタルジーを誘います。



⇨
浪速教会の礼拝堂ではステンドグラスを
透かして柔らかな光が溢れる
(礼拝堂内部写真は同教会HPより)

少彦名神社を出てから再び三休橋筋に戻って北に進み、高麗橋通の手前で立ち止まります。

⑤ベージュ色の日本基督教団浪速教会の建物、
その隣の角に赤煉瓦色の辰野金吾・片岡安設計で1912年に竣工した
高麗橋ビルディングが建っています。



⇨梅檀木橋の向こうに煉瓦色の
建物、中之島公会堂の威容が
見えます。



三休橋筋は北端の梅檀木橋⑥で土佐堀川に突き当たり、
ここで散策の前半は終了です。

↑梅檀木橋南端から土佐堀川を挟んで大阪市役所本庁舎
を臨みます。

⇨
土佐堀川を下る観光船。航路に
より淀屋橋を潜って北新地あたりに
向かう航路もあるようです。

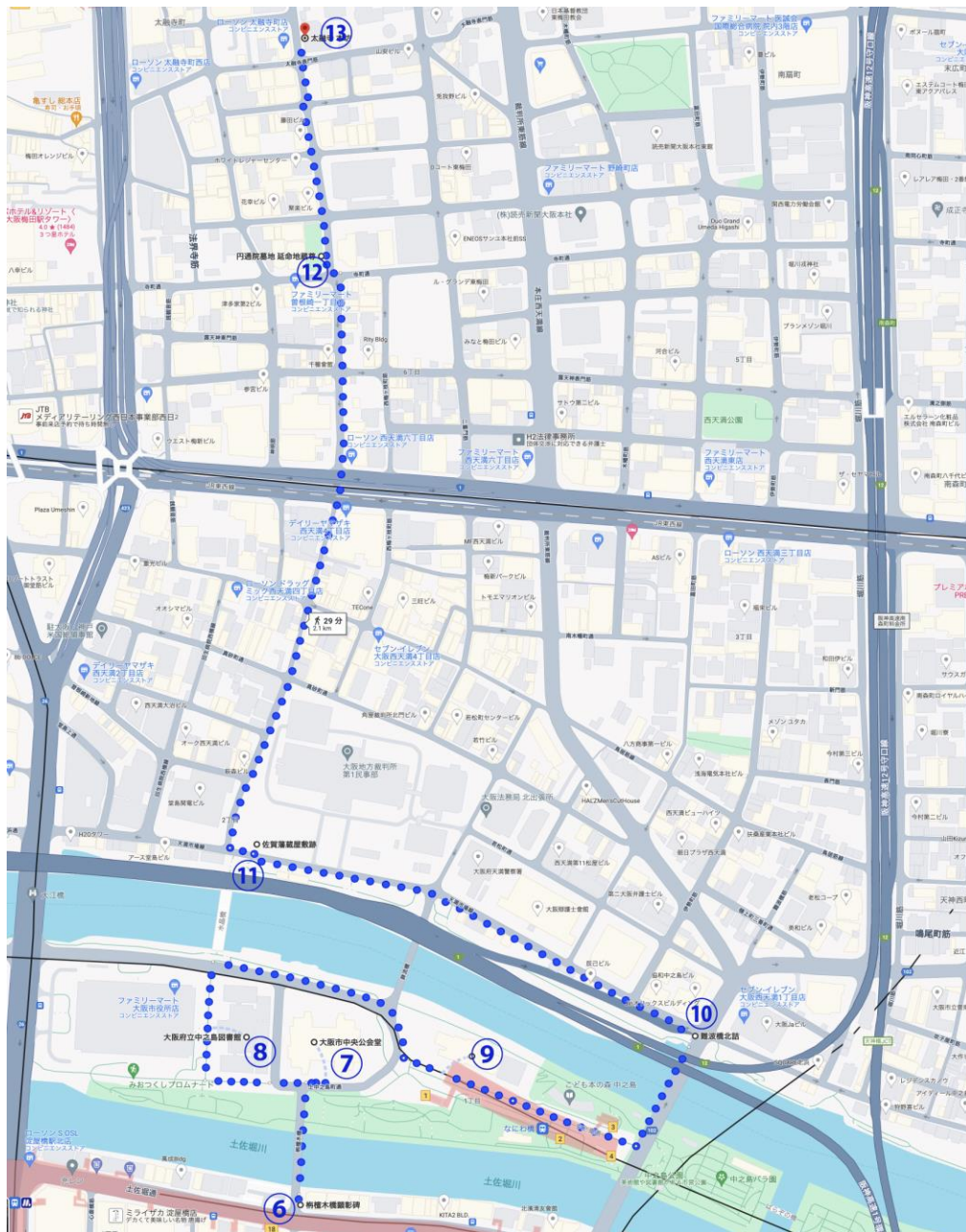


↓
浪速散策 散策ルート後半に続く

浪速散策

散策ルート後半





散策ルート後半 梅檀木橋～太融寺

中之島東側を巡ってから難波橋で堂島川を渡し、裁判所の通りを北に上がって寺町・太融寺に向かいます



↑梅檀木橋を渡り中之島に入ると正面に1918年竣工の重要文化財・中之島公会堂⑦（設計 辰野金吾・片岡安）があります。経済団体の会議や一流アーティストによるオペラ、コンサートなど多目的に活用されています。



↖

↙

中之島公会堂の西側には1904年竣工の大阪府立中之島図書館⑧があり、大阪府民のみならず広く図書愛好家に親しまれています。
中央ホールのドームにはステンドグラスが嵌り木製の階段・手摺と相まって重厚な雰囲気醸し出しています。

油滴天目茶碗
安宅コレクション
南宋時代。国宝



中之島を東に進むと2024年4月に改修工事を了えた大阪市立東洋陶磁美術館⑨があります。ゆったりとした展示スペースに安宅コレクションなど5,700を超える貴重な東洋陶磁が集められています。



中之島を更に東に進み難波橋から堂島川を北に渡ります。
難波橋は何度か架け替えられていますが、**1915年**に架け替えられた折に装飾として橋の南北四隅に設置された**ライオン像⑩**は大大阪といわれた大正時代当時のままの姿で残っています。

難波橋から土佐堀川沿いに西に進むと大阪裁判所の大きな黒いビルが建っています。その西南隅に幕末期を偲ぶ**佐賀藩蔵屋敷跡⑪**と言う小さな碑がありました。この角を北に折れて裁判所西筋線を寺町方面に進みます。





寺町通にある圓通院墓地延命地藏尊の前には
大石内蔵助実父の墓所を示す碑⑫が立っています。



この散策の最終目的地、太融寺⑬に
着きました。太融寺は真言宗の古刹で
空海が嵯峨天皇の勅願により822年に
開山。その後843年には嵯峨天皇の
皇子・源融により七堂伽藍が建立され
ています。
残念ながら大坂夏の陣、第二次大戦で
被災しましたが再興されています。



太融寺境内には1877年に淀姫神社より
移転された淀殿の墓所⇒
や松尾芭蕉の句碑があります。

今回の散策は歩行距離4.2キロメートル、1時間程度の旅程です。大阪散歩を楽しみましょう！